

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	歴史ⅡB
科目基礎情報					
科目番号	03222		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気・電子システム工学科		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	「高校世界史B」「高校日本史B」(山川出版社) 「最新世界史図説 タペストリー」(帝国書院) / プリント資料				
担当教員	京極 俊明				
目的・到達目標					
<p>(ア) 第一次世界大戦から現代までの世界の変化のおおきな流れと政治状況を理解できる。</p> <p>(イ) 第二次世界大戦にどのような国が参加し、どのように関わったのか、また、戦争がどのような経過をたどったのか理解できる。</p> <p>(ウ) 第二次世界大戦後のアメリカ・ソ連を中心とした世界秩序形成とその変化に日本がどのように関わったのかを理解できる。</p> <p>(エ) 近代から現代への日本社会のおおきな変化を世界状況の中に位置付けて理解できる。</p> <p>(オ) ある歴史上のテーマについて、自分の文章で具体的に説明することができる。</p> <p>(カ) 現代社会が抱えるさまざまな問題について、技術者としてどのように関わっていくかを考えることができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	第一次世界大戦から現代までの世界の変化のおおきな流れと政治状況を理解し、説明できる。	第一次世界大戦から現代までの世界の変化のおおきな流れと政治状況を理解できる。	第一次世界大戦から現代までの世界の変化のおおきな流れと政治状況を理解できない。		
評価項目(イ)	第二次世界大戦にどのような国が参加し、どのように関わったのか、また、戦争がどのような経過をたどったのか理解し、説明できる。	第二次世界大戦にどのような国が参加し、どのように関わったのか、また、戦争がどのような経過をたどったのか理解できる。	第二次世界大戦にどのような国が参加し、どのように関わったのか、また、戦争がどのような経過をたどったのか理解できない。		
評価項目(ウ)	第二次世界大戦後のアメリカ・ソ連を中心とした世界秩序形成とその変化に日本がどのように関わったのかを理解し、説明できる。	第二次世界大戦後のアメリカ・ソ連を中心とした世界秩序形成とその変化に日本がどのように関わったのかを理解できる。	第二次世界大戦後のアメリカ・ソ連を中心とした世界秩序形成とその変化に日本がどのように関わったのかを理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>第一次世界大戦とその悲惨な結果は、ヨーロッパが中心になって作りあげてきた近代世界のありかたを根本から問い直すことになった。だが、世界は再度、第二次世界大戦という大戦争を経験し、日本も深く関わったのである。</p> <p>x000D この授業では、近代日本の発展とその問題点を学び、第一次世界大戦後の世界から、第二次世界大戦にいたる世界状況とその経過、そして戦後大きく変化した世界と日本について理解し、われわれが今生きている現代社会の問題点と未来を考える。</p>				
授業の進め方と授業内容・方法					
注意点					
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業計画					
		週	授業内容・方法	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	第一次世界大戦とロシア革命(社会主義国家の誕生とその問題点)	ロシア革命について理解できる。	
		2週	第一次世界大戦とロシア革命(社会主義国家の誕生とその問題点)	ロシア革命からソ連成立までの経緯を理解できる。	
		3週	第一次世界大戦後の世界と日本(新たな国際体制の展開と日本の台頭)	大戦後の新体制の成立とその中での日本の地位を理解できる。	
		4週	民族自決とアジアの民族運動(インド、中東、東アジアの独立運動)	第一次世界大戦後のアジアでの独立運動について理解できる。	
		5週	近代日本とアジア(日本の海外侵略とその影響)	近代日本の海外侵略について理解できる。	
		6週	近代日本とアジア(日本の海外侵略とその影響)	近代日本の海外侵略について理解できる。	
		7週	世界恐慌の時代(世界経済の混乱とその影響)	世界恐慌の原因と恐慌への対応策について理解できる。	
		8週	ファシズムの台頭から第二次世界大戦へ(ファシズム諸国の侵略と諸国の対応、第二次世界大戦の開始)	イタリア、ドイツ、日本を中心として、ファシズム国家の成立とその活動について理解できる。	
	4thQ	9週	ファシズムの台頭から第二次世界大戦へ(ファシズム諸国の侵略と諸国の対応、第二次世界大戦の開始)	イタリア、ドイツ、日本を中心として、ファシズム国家の成立とその活動について理解できる。	
		10週	第二次世界大戦の展開と終結(ヨーロッパの戦争、アジアの戦争)	第二次世界大戦の展開について理解できる。	
		11週	第二次世界大戦の展開と終結(ヨーロッパの戦争、アジアの戦争)	第二次世界大戦の終結について理解できる。	
		12週	第二次世界大戦後の国際秩序(国際平和へのとりくみ、冷戦の開始)	第二次世界大戦後の国際秩序について理解できる。	
		13週	日本の戦後社会(敗戦後の日本と国際社会への復帰)	戦後日本の政治と社会について理解できる。	
		14週	国際体制の変化と冷戦後の世界(冷戦の終結から新たな国際秩序の形成)	冷戦体制の終結とその影響について理解できる。	
		15週	国際体制の変化と冷戦後の世界(冷戦の終結から新たな国際秩序の形成)	冷戦体制の終結とその影響について理解できる。	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合				
	中間試験	定期試験	課題	合計
総合評価割合	30	55	15	100
基礎的能力	30	55	15	100